



日本発の高齢化社会の切り札

「コエンザイムQ」

協会発足、普及と
研究の推進役に

重要な抗酸化物質として

近年注目を集めている「コ
エンザイムQ」の知識普及
と研究促進を目的として、

『日本コエンザイムQ協会』

(山本順寛理事長、東京都
千代田区、☎03・323
0・4433)が11月1日
発足した。

コエンザイムQは心筋症
などの心不全・がん・糖尿
病など生活習慣病に有効と
され、老化防止や美容効果
の高い健康食品として有望



山本順寛理事長

視されている。サプリメント
トとして、米国での市場規
模は二五〇億円以上といわ
れる。日本では昨年3月の
食薬区分改正により医薬品
から食品へと分類されたば
かり。協会は今後、賛助会
員を募り、一般への情報提
供や未解明部分の研究を推

し進める。

コエンザイムQは、生命
活動に必要な細胞のエネル
ギー生産に不可欠な物質と
して一九五七年に発見され

た。生体の老化やがん・動
脈硬化・糖尿病・パーキン
ソン病などの原因とされる
活性酸素・フリーラジカル
による生体傷害を防ぐ第一

線の抗酸化物質としても重
要であることが明らかにな
ってきた。

私たちは自らコエンザイ
ムQを作り出しているが、
コエンザイムQの細胞内濃
度は、多くの臓器で二〇代

がピークとなり、加齢とと
もに減少していく。そこで

コエンザイムQをサプリメント
などで補うことが重要
となる。

そもそも日本におけるコ
エンザイムQの利用は世界
に先駆けるもの。一九七四
年に心不全改善薬として認

可されて以来、薬品として
はその絶大な効能を知らし
めてきた。今後は現代医療
の及ばない、体力・精神力

の根源を補う食品として、
さまざまに活用されていく
ものと大きな期待が寄せら
れている。